

9月定例会 一般質問

村政を問う

**5人の議員が登壇しました
一般質問とは……**

定例議会において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり村当局の考え方や疑問をただすことです。

また、議員にとって政策の見直しや政策を提言する重要な活動の場です。



久保木 源 議員

Q ジュピアランドひらたの 総合的な開発計画は

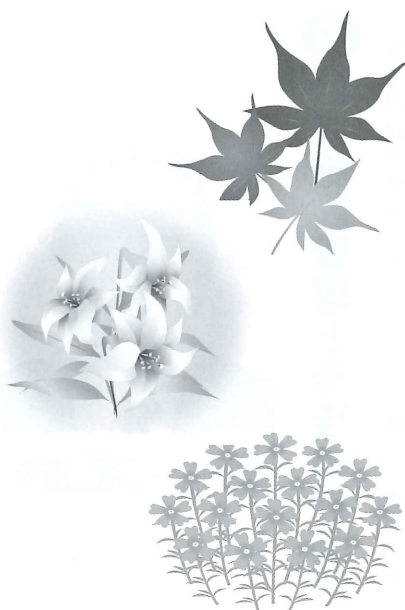
交流人口をいかに増加させるかという課題は、それぞれの自治体が知恵を出し、事業を行っているのが現状。本村においては、蓬田岳の中腹に県内でも有数の観光施設が存在し、さらなる誘客の増加が見込まれる。

そこで、芝桜、ゆり園、あじさい園の三つのエリアについて、総合的な誘客計画について伺う。

A 四季を通じて楽しめる 憩いの場に整備する

▽産業課長

ジュピアランドひらたを核とした観光開発のため、国有林の払い下げを受け、民有地取得により臨時駐車場の整備を計画している。ゆり、いろは紅葉などを植栽し、四季を通じて花や樹木を楽しめる憩いの施設となるよう整備していく。トイレや休憩所も整備し、お客様の満足度向上に努めたい。



あじさい園



佐藤 一一 議員

Q 職員の健康管理の実態は

7月に遠藤教育課長が逝去されたことは誠に痛恨の極まりである。自己管理の社会の中で、組織にとって優秀な人材をなくすことは、村にとっても最大の損失である。

職員の健康管理は、健康診断や職員安全衛生委員会において管理されているが、その実態について、また今後の職員の健康管理の在り方について伺う。

A 職場環境の改善や精神的・心理的ケアに努めている

▽総務課長

現職の職員が亡くなったことは、非常に残念でならない。毎年、臨時職員を含む全職員を対象に健康診査を実施している。保健師を含めた職員で構成されている職員安全衛生委員会は、年に数回会議を開催し、職員の健康管理・職場環境の改善等について検討している。昨年は、健康づくりアンケートを実施し、保健師を中心に相談できる体制づくりも検討している。また、メンタルヘルス講演会等を開催しながら、職員の精神的・心理的ケアへの対応にも努めている。



根本 定雄 議員

Q 公共施設管理と今後の計画は

本村の公共施設、インフラ資産等は、老朽化が顕在化しており、近い将来、多くの施設、資産が一斉に改修、更新時期を迎えることになる。老朽化した公共施設を、これまでと同じ考えで更新していくと、維持更新費に多額の財源の確保が必要になり、財政運営の大きな負担となる。

公共施設等の管理と今後の計画について、村長の考えを伺う。

A 検討を進めている

▽総務課長

こども園建設及び公共施設等跡地利活用検討委員会において、2月に提言書が提出されている。この中には、公共施設としての活用のほかに、売却、賃貸も有効な利活用方法であるとともに、すべての施設の利活用前提ではなく、経年劣化による解体等も含めながら、こども園建設を優先し、長期的なスパーンで検討すべきとするものもある。この提言を基に、庁内のふるさとづくりプロジェクト会議で、検討を進めている。



議会全員協議会において、ひらた清風中学校のグラウンドや学校周辺を確認しました。



三本松 和美 議員

Q あじさい園乗用カート 寄贈に問題はないのか

広報ひらた8月号に、「あじさい園に乗用カートを寄贈」と掲載されていた。寄贈した平田建設業協会、株式会社道の駅ひらたについては村との関わりが深い関係にあり、特に注目すべきところ。

- ① 村は、指名業者である平田建設業協会からカートの寄贈を受けたが、議会の判断の重みを無視した寄贈は受けるべきではないのが本来の対応と考える。指名業者であることをどのように考えているのか。なぜ、寄贈を受けたのか。
- ② 株式会社道の駅ひらたは、村長が社長で指定管理料を計上。総会で、赤字の決算により、会員に支給していた芝桜商品券配布をやめている。誰の判断で寄贈することになったのか。
- ③ これからのジュピアランド運営は、村内外から協力を頂き、村民総参加のもとで運営を構築する必要があると思うが、考えを伺う。

A 指名業者ではない ニーズに賛同されたもの

▽産業課長

- ① 平田建設業協力は指名業者ではない。お客様のニーズや政策に賛同を頂き寄贈されたものと思われる。
- ② 定款の地域振興交流事業に関する業務として、これまでも道の駅ひらたから寄附等を受けている。
- ③ ジュピアランドの運営については、イベント参加・参画だけでなく、芝桜やアジサイ、ジュピアランド全体の維持ボランティアや観光案内等、住民に参画・協力いただける運営をしていきたいと考えている。

Q こども園建設予定地 防災上の問題は

こども園建設予定地は、土石流災害指定区域に係していることや、北須川の河川がある。世界的異常気象が続く中、防災上、こども園建設予定地は全く心配ないと考えているのか。

A 防災対策は講じていく

▽総務課長

こども園建設場所については、こども園建設及び公共施設等跡地活用検討委員会からの答申内容を尊重し決定したもの。防災対策は講じていく。

Q 中学校スクールバス 沿線の希望者も乗車可能に

中学校スクールバス沿線の希望者等は、乗車可能にしてほしい声がいまだにある。また、全校生を見据えたスクールバス運行を希望している声もある。スクールバス運行の見直しをするべきではないか。

A 時間をかけて検討する

▽教育長

スクールバス利用に関し、保護者から色々な要望があることは承知している。今後の課題として、時間をかけて検討させていただきたい。

Q ひらた清風中学校 グラウンドの安全性は

保護者のボランティア作業でも、側溝の土上げがされている。石も出ている。生徒のクラブ活動への安全が問題になっている。具体的にどう対応するのか。

A 喫緊の課題 今議会で補正予算を計上

▽教育長

土砂流出や小石の問題は、授業や部活動でのけが等も懸念されることから、喫緊の課題と捉え、今回補正予算を計上した。



高橋 七重 議員

Q 災害時の避難体制は

本村で実際に河川の氾濫、大雨による山崩れ、土砂災害があった場合、どうすれば良いのか。

- ① 震災後に作られたハザードマップについて
土石流危険渓流域、土砂災害警戒区域になっているところが指定避難所になっている。また、災害が起きた場所により、避難経路が変わる際の記載がない。見直しと加筆が必要ではないか。
- ② 避難する際の住民の行動について
ハザードマップに「災害時要援護者のために」とあるが、詳細は記載されていない。
- ③ 非常用グッズについて
簡易トイレやプライバシー保護のための段ボール等も準備しておくことが必要ではないか。
これらは避難所に指定されている学校や集会所などに配置すべきではないか。

A 来年度、

防災計画を見直す予定

▽住民課長

防災ハザードマップや避難する際の住民の行動、非常用グッズ等は、全て平田村地域防災計画に位置付けられている。

現在の防災計画は、平成26年の改定から5年が経過する。大規模災害にも対応できるよう、来年度に見直しを予定している。



平田村防災ハザードマップ

Q アジサイのギネス申請は

適正だったのか

アジサイのギネス申請事業は、平成30年3月の第一回議会定例会で修正動議が出され、否決されたこと。しかし、この事業に対して指定寄附があり、6月の第二回議会定例会で160万円が補正計上され、結果として、執行者の当初の計画通りに事業が実施された。

- ① 議会で否決された事業は取り組まないもの。しかし、今回のような場合、全員協議会または臨時議会を開き説明をするべきではなかったか。
- ② 今回の寄附者は、村の指名業者である。住民から疑念を持たれることのないように配慮すべきであり、お断りすべきではなかったのか。

A 正式な手続きで行っている

▽総務課長

- ① 第二回議会定例会の常任委員会で説明している。
- ② 寄附金は、行政が募集したものでなく、寄附者が見返りをもとめるものでもなく、正式な寄附手続きを得た指定寄附である。